

学校だより

小川中学校

No. 3

平成26年 4月30日

文責：佐藤正則

天気にも恵まれた修学旅行

4月15日（火）から17日（木）までの東京、横浜への修学旅行は、3日間とも天気に恵まれ、予定した活動をしっかり行うことができました。

1日目は、東京お台場での班別活動と四季劇場でライオンキングを鑑賞し、2日目は横浜市内班別活動と東京ディズニーシーを堪能しました。3日目は浅草周辺のいろいろな伝統工房でグループ別体験活動を行いました。3日間とも汗ばむ陽気で、絶好の活動日和となりました。



七宝焼きに挑戦！ 浅草、スタジオサカミにて

今回の修学旅行で

1. 日を重ねるにつれ、時間を意識した行動ができたこと
2. 事故を起こしたり、事故に遭ったり、病気になる生徒がいなかったこと
3. 実行委員や班長が役割を自覚して活動していたこと



はとてもよかったことです。

一方、課題もありました。禁止されていたスマートフォンを持ってきた生徒が数名いたこと、頭髪ワックスや変形学生服、腰パンばきが見られたことです。こうしたことは数名であっても、社会的には「小川中生は！」「小川中学校は！」という見られ方をします。一人ひとりが、常に小川中の代表であるという自覚を育てていかなければと思いました。

それでも今回の旅行に向け、決して準備に十分な時間をかけることができたわけではなかったのですが、3年生最初の行事を大成功させたことは、素晴らしいことですし、大きな自信となるでしょう。なにより学校をリードしていくべき最上級生として、とても頼もしいです。

26年度の新戦力紹介その2

今年度、江名中学校から参りました
中村 操です。



自然豊かで、近代的な校舎の小川中学校に赴任して、気持ちを新たに教育職に従事しようと胸を膨らませています。

この2週間で、特に印象に残っているのは、多くの生徒の皆さんが、学習活動や部活動、生徒会活動に自主的に取り組んでいる意欲的な姿です。生徒会が伝統として誇っている「無言清掃」と「あいさつ」を継承しながら、生徒の皆さんと共に、さらにより良い小川中学校にしていければと思っています。

夏井川で産湯につかり、ニツ箭山を仰ぎ見て高校卒業まで小川で暮らした菅原です。どうぞよろしくお願ひします。



小川中はもちろん母校です。

現在の小川中は、私の時代とは大きく変わりました。生徒数が少なくなったのは勿論ですが、校舎などの教育環境が大変素晴らしいです。いわき市内の数多くの学校の中でも一番良いのではないのでしょうか。市内のほとんどの学校を訪ねた経験から、これは断言できます。

こういう環境で中学校生活を送れる今の小川中生徒は幸せです。この環境を生かして、生徒たちの学習や諸活動がさらに活発になることを期待していますし、そのための一助にたずさわれることに、さらに母校ですから、やりがいを感じています。

植田中学校から来ました松本美保です。



3学年を担当します。教科は英語で、部活動はソフトテニス部です。

体を動かすことが好きなので、たまに、ランニングをしています。一日一日、全力で頑張りますので、よろしくお願ひします。



お邪魔します！**家庭訪問**

5月7日から13日までの期間で家庭訪問を計画しています。お忙しい折とは思いますが、ご協力をお願いします。

3年生 全国学力テストに挑む

4月22日(火)に、全国学習状況調査(通称、全国学力テスト)が行われ、3年生が挑みました。



修学旅行明けでしたが、緊張して取り組んでいました。

特設駅伝部始動

先週から特設駅伝部の活動が始まりました。活動は朝7時過ぎから半までの時間帯で行われ、体力別にグループを分けて、2~4kmを走っています。

駅伝競走は、学校の総力を挙げ、名誉をかけて戦う競技です。現在、50人を超える男女が名乗りを上げて、練習に参加しています。楽しみです。

朝の駅伝練習は、オーバーワークにならないかぎり、体温を上げ、全身を活性化させますので、免疫がよくなり、すぐに頭も体も全開で活動できるようになります。ですから、選手として出場するしないに関係なく、多くの生徒が練習に参加できるとよいと思います。